徳川・武田 攻防の山城

守れ飯田城趾 住民〝のろし〟

荒廃に危機感 森町で保存会結成

築城は600年ほど前にさかのぼるという森町の「飯田城趾」の整備に、地元の住民らが乗り出した。徳川と武田の攻防の舞台にもなったとされる山城跡だが、現在は荒廃農地が広がるばかり。新東名高速道路の開通を機に、地域の文化遺産を後世に伝えようと6月、住民が保存会を結成した。（袋井通信部・河野貴子）

約100年前に飯田青年会が建てた石碑＝森町飯田の飯田城趾で

飯田地区は新東名森掛川インターチェンジから直線で三㌔ほど。遠方からも訪れやすくなった上、城趾周辺の荒廃農地をクリ園に改植する動きがあることから、整備・保存への機運が高まった。

人々の間には「地域のシンボルを守り、顕彰することで地元の振興につながる」「住民同士のつながりを深めたい」といった期待もある。保存会の結成には、土地所有者をきめて約百人が参加した。

城の主郭付近には現在、百年前に地元の青年会が建てた二・五㍍ほどの石碑がある。青年会は毎夏に草刈りや供養を続けているが、八年ほど前に地域の共同茶工場が解散すると、城趾にある荒廃に手が入らず荒れ放題になった。

今後の整備について、保存会は遺構にはできるだけ手を加えず、倒木や雑草を取り除き、桜やショウブを植えたり、駐車場を確保したりして、四季折々に散策が楽しめる場を目指す考え。歴代城主山内氏の菩提寺で、城趾の一角に立つ崇信寺に資料館を造る構想もある。

七月中にも町教育委員会の立ち会いで木を切り、遺構の状態を分かりやすくする。保存会の鈴木広一郎会長(六)は「観光化を目指そうという気持ちはない。城趾にはいい空気がある。残された現代人のよりどころになれば」と話している。

歴史概説 室町時代の1400年ごろ、飯田山内氏の初代、遠江（とうとうみ）が築城したとされる。1500年代後半、遠州での覇権を争う徳川家康や武田信玄に攻められた。落城後の歴史は不明。発掘調査は行われていないが、実測を基に城の様子を示す縄張図が作られた。1978年、約1600平方㍍が町の指定文化財になった。

福岡で一時3000人孤立

九州北部豪雨、死者26人に

豪雨に見舞われた福岡県八女市で十五日、道路が寸断され、三千人以上とみられる住民が一時、孤立した。新たに確認された死者は福岡県で十人、大分県で六人、熊本県で五人、佐賀県で四人、長崎県で一人の計二十六人。福岡県八女市と大分県日田市では、十五日午後、孤立した一部地区の解除が進んだ。

福岡県警によると、広い範囲で浸水した朝倉市で十五日午前、用水路の水利で心肺停止状態で見つかった八女市の男性（七〇）ら十人が死亡した。

熊本県警によると、行方不明になっていた阿蘇市の田中八千代さん（七三）も遺体で発見。

大分県警によると、大分市の大野川の河川敷で十五日午前、田んぼを見るため自宅を出て土砂崩れに巻き込まれ、意識不明となっていたが、十五日、死亡した。

てんぷらを揚げる際、油を鍋に入れすぎたことが原因とみられる火災（静岡県警提供）

酔って友人刺す

葵区の41歳逮捕 殺人未遂容疑

酒に酔って友人の背中を刺したとして、静岡中央署は十五日、殺人未遂の疑いで静岡市葵区馬場町、無職大畑正道容疑者(四二)を現行犯逮捕した。

逮捕容疑は同日午前三時五十分ごろ、大畑容疑者の自宅アパートで、焼津市の自動車販売業男性(三七)の背中を包丁で数回刺したとされる。男性は救急搬送されたが、命に別条はないという。同署の調べに、大畑容疑者は「背中を刺したが、殺すつもりはなかった」と殺意を否認している。

振り込め詐欺

口座開設容疑

浜松中央署

浜松中央署は十五日、詐欺の疑いで、他人に利用目的で口座を開設したとして、静岡県磐田市西部の金融機関に勤務する介山容疑者(二三)ら男女三人を逮捕した。

逮捕容疑で

ニュースとおトク情報のための
中日新聞＋プラス
chunichi.jp
ドラゴンズチケットが当たる
懸賞応募(8/14～25)…8月30日締

きのうの気象 15日
（最低気温は午前0時まで、最高は0時まで。天気・降水は15時現在）

きょうの月